

大学基準協会 大学基準				本学目標		学部																	研究科		評定S・Aの場合に記入		評定B・Cの場合に記入															
大学基準	点検・評価項目	評価の視点	留意すべき事項	到達目標	評価指標	個別点検評価委員会	全学	神	英文学科	英語専攻	仏語専攻	商	経	法	人間	国文	法学	経営	文学英文	文学仏文	経済	神学	人間	国文	法科	点検評価 (効果が上がっている事項)	将来に向けた発展方策 (伸長方策)	点検評価 (改善すべき事項)	将来に向けた発展方策 (改善方策)													
421 教育課程・ 教育内容	421 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 「専門教育・教養教育の位置づけ」(学部) 「コースワークとリサーチワークのバランス」(院)	【基盤①】【学士】幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する教育課程が編成されていること。 ※大学院設置基準第19条第2項	1. 学士課程教育において、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する教育課程が編成されていること。	421-【基盤①】総括	学部	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A										専門教育と教養教育の位置付けは明確であり、学生便覧に明記している。また、新入生、在学生の履修指導で学生便覧やオリエンテーション資料に基づき、指導を行なっている。	基本科目や発展科目といった体系的を持った科目配置をした上で、履修モデル等を学生に配布し、そうした順次性、体系的を持った履修をさらに促す。														
				2. 学士課程教育において、教養教育、専門教育の位置付けを明確にしていること。	2. 学士課程教育において、専門教育と教養教育の位置付けを明確にしている。また、それを明記した学生配布用資料(オリエンテーション資料等)を作成している。	学部	A	A	A	A	A	A	A	A	B																											
				3. 高大連携に配慮した入学前教育および初年次教育を実施していること。	3. 各学部・学科・専攻で高大連携に配慮した入学前教育および初年次教育を実施している。 関連指標: 大学基準6. 学生支援6-0-1、基盤②修学関係、評価指標③	学部	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A																										
				4. 高い情報対応力を備えた人材を養成するための情報教育カリキュラムを整備している。	4. 高い情報対応力を備えた人材を養成するための情報教育カリキュラムを整備している。	情セ	B																																			
				5. 授業内容の精選に努め、魅力ある正課体育授業を提供している。年間履修学生2,700名(選択履修者の50%)を目指す。	5. 授業内容の精選に努め、魅力ある正課体育授業を提供している。年間履修学生2,700名(選択履修者の50%)を目指す。	体育	A																																			
				【基盤②】【修士・博士】コースワーク・リサーチワークを適切に組み合わせ、教育を行っていること。 ※大学院設置基準第12条	1. 修士・博士課程の教育課程においてコースワーク・リサーチワークを適切に組み合わせ、教育を行っていること。	421-【基盤②】総括	研究科	A													A	A	A	A	A	A					A	A		学問体系と専門的知識を理解できる多様なコースワーク科目を設置している。	研究者として自立した研究活動を行えるよう、またその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力が得られるよう、研究指導を中心とする教育・研究を展開する。							
					6. 修士・博士課程の教育課程においてコースワーク・リサーチワークを適切に組み合わせ、教育を行っている。また、それを明記した学生配布用資料(オリエンテーション資料等)を作成している。	6. 修士・博士課程の教育課程においてコースワーク・リサーチワークを適切に組み合わせ、教育を行っている。また、それを明記した学生配布用資料(オリエンテーション資料等)を作成している。	研究科	A														A	A	A	A	A					A	A										
					【基盤③】【専門職】理論教育と実務教育を適切に組み合わせ、教育を行っていること。 ※専門職大学院設置基準第6条	1. 専門職課程の教育課程において理論教育、実務教育を適切に組合せた教育を行っていること。	421-【基盤③】総括	法科	A																								A					カリキュラムとして1,2年次では理論的な科目を、3年次では模擬裁判や総合演習を必修科目として理論教育、実務教育を適切に組合せている。	研究者教員と実務家教員とが担当する共同授業を実施し、実務的な観点を取り入れている。			
				1. 専門職課程の教育課程において理論教育、実務教育を適切に組合せた教育課程を編成している。また、それらの位置付けを明確にした学生配布用資料(学生便覧、オリエンテーション資料等)を作成している。		1. 専門職課程の教育課程において理論教育、実務教育を適切に組合せた教育課程を編成している。また、それらの位置付けを明確にした学生配布用資料(学生便覧、オリエンテーション資料等)を作成している。	法科	A																								A										
				422 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。	「学士課程教育に相応しい教育内容の提供」(学部) 「専門分野の高度化に対応した教育内容の提供」(院) 「理論と実務との架橋を図る教育内容の提供」(専) 「初年次教育・高大連携に配慮した教育内容」(学部)	【達成度①】教育課程の編成・実施方針に基づいた教育課程や教育内容の適切性を明確に示しているか。 (評価するにあたり、当該大学の説明・証明から、下記のこと明らかであることに留意する) 学生の順次的・体系的な履修への配慮	1. 学士課程及び修士課程・博士課程の教育課程の編成・実施方針に従い、学生に期待する学習成果の修得につながる。 順次性、体系的に配慮した教育課程となっている。	422-【達成度①】総括	学部研究科法科	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A					A	A	A	教育課程は順次的、体系的に編成されており、学生主任による履修指導、年度始めのガイダンスで、学生に周知徹底している。 履修条件や科目内容は単位の実質化を目指して設定されており、シラバスで学生に周知している。	科目の年次配置とともに履修モデル等を提示することによって、順序性を促している。							
							1. 順次性、体系的に配慮して教育課程を編成し、学生に履修を促している。	1. 順次性、体系的に配慮して教育課程を編成し、学生に履修を促している。	学部研究科法科	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A					A	A	A					A				
							2. 単位の実質化を目的として、履修条件や科目内容を設定している。	2. 単位の実質化を目的として、履修条件や科目内容を設定している。	学部研究科法科	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A					A	A	A					A	A			
3. 留学・語学研修の機会を拡充し、学生へその機会の活用を促している。	3. 留学・語学研修の機会を拡充し、学生へその機会の活用を促している。	学部研究科法科	A				A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B														
4. 正課・正課外での指導と支援を通じてキャリア教育を実施している。	4. 正課・正課外での指導と支援を通じてキャリア教育を実施している。	学部研究科法科	A				A	A	A	A	B	A	A	B	A	B	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A															
5. 資格取得を支援する科目や制度を設定している。	5. 資格取得を支援する科目や制度を設定している。	学部研究科法科	A				A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A															
6. 履修上限単位数(科目数)に配慮して開講科目数を設定している。	6. 履修上限単位数(科目数)に配慮して開講科目数を設定している。	学部研究科	A				A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A															
【達成度②】教育課程の適切性を検証するにあたり、責任主体・組織・権限、手続を明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させ、改善につなげているか。	1. 教育課程の適切性を検証する責任主体として、下記委員会を置き、「西南学院大学自己点検・評価規程」と「西南学院大学自己点検・評価規程細則」にその権限、手続を明記していること	422-【達成度②】総括	学部研究科				A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A		各学部点検評価委員会(又は各学部教授会)で定期的に教育課程の編成・実施方針に基づいた教育課程や教育内容の適切性を検証し、改善を図っている。	アンケート調査を分析し、カリキュラムの見直しを行う。また、すでに作成しているカリキュラムマップの精緻化を図る。												
	2. 下記委員会で、定期的に教育課程の適切性を検証し、抽出された課題を改善していること	2. 下記委員会で、定期的に教育課程の適切性を検証し、抽出された課題を改善していること	学部研究科				A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A															
	大学全体: 全学FD点評委 大学院全体: 大学院点評委 学部: 学部点評委 研究科: 研究科点評委	2. 上記点検評価委員会で、定期的に理念・目的の適切性を検証し、抽出された課題を改善している。	学部研究科				A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A														

